

取中 取中の未来 通信

謹賀新年

今週水曜日(1月7日)、3学期の始業式でした。みなさん、3学期のスタートはうまく切れましたか?まだ、冬休みモードの人は…、明日からの3連休でしっかりと整えて来週に臨んでください。来週水曜日(1月14日)に1・2年生はチャレンジテスト、3年生は第5回実力テストが控えています。「一年の計は元旦にあり」ですが、「3学期の計は始業式にあり」です。今週、ちょっと出遅れた感のある人は、週明けからエンジン全開で頑張っていきましょう。誰のため?もちろん、自分のために!頑張れ、取中生!今年もよろしくお祈いします。

■各学年の3学期感とは?

3年生:長いこれからの人生を大きく左右するかもしれない大きな節目

→多くの人が、初めて自らの生き方を決める!

2年生:進路を決める3年生を迎えるにあたり、最後の準備期間

→3年生の0学期!3年になってからでは遅い…!

1年生:3学期はある意味後輩として過ごせる最後の時間

→あと2年を「まだ」OR「もう」のどちらで捉えるかで、今後を左右する!



< 節目について一言 >

『竹』は日本を象徴する植物の一つで、昔から身近に存在していました。『竹取物語』の一節に「よろずの事に使いけり」とあるように、当時の生活用品として、扇子をはじめ提灯や傘などがしなやかな竹から作られていました。竹がすくすくと空に向かい真っ直ぐに伸びる様子は子どもたちの成長の姿に似ていますが、竹は初めから立派な成長を見せているわけではなく、竹の子の段階から少しずつその成長の過程に『節』を作って伸びているそうです。竹の節のあるところを『節目』といいます。言い換えると、『竹は節を作って確かに成長する』植物なのです。背の高い竹は節があることで、強風による横からの強い力を受けても折れにくいのが特長です。厳しい環境に耐えながら、しなやかに、しっかりと、たくましく伸びていきます。また、竹は節ごとに成長点をもっていると言われていいます。それだけ竹の成長にとって、節は大切なものなのです。子どもの成長過程においても同じことが考えられます。人生には必ずその時々節目があり、とても大切にされています。学校では入学式や卒業式があげられますが、子どもにとっての大きな成長点となります。子どもたちは様々な体験等を繰り返しながら成長していきます。そして、その時々において自己を振り返り、次のステップへどのように向かうかを考え、進んでいくことが大切です。振り返りをすることで、節目は単なる通過点から、より成長を促す成長点としての節目になっていきます。大きな節目を迎える52期生のみなさん、自分の進路について不安を感じることもあると思いますが、残りの中学校生活を大切に過ごしてください。

■今年の干支は『午(うま)』

馬は本来、常に前進する動物であり、夢に向かって突き進む象徴。まさに、令和8年を「挑戦」「目標」「飛躍」などポジティブなイメージと重ねたい人にとっては『午』は理想的な干支ですね。

次号「午」についての続編



新しい1年が始まりました。本年も保護者の皆様方のあたたかいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。